

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ

- ◆ 8月 第3週調整 笈川 寛繁さん(オーボエ演奏会)
- ◆ 9月 8日(金) 池内 光子さん(アコーディオン演奏会)
- ◆ 10月30日(月) 川田京子さん・福田佳子さん(うたとピアノの演奏会)

中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非、お越しください。コンサート予定表は、各病棟掲示板および会計前ロビーにて掲載しております。曲目につきましては、コンサート当日、会計前ロビーにて掲示いたします。ご確認ください。

初診特定療養費の改定のお知らせ

標記の件につきまして、下記のとおり改定いたしますので、みなさまのご理解ならびにご協力の程お願いいたします。

- ◆ 改定日 平成18年9月1日(金)より
- ◆ 改定額 現行2,100円(税込) 改定後3,150円(税込)

初診時特定療養費制度とは・・・

病院と診療所との機能分担推進を図るため、200床以上の病床をもつ病院での診療において、他院又は診療所からの紹介状をご持参されずに受診される患者さまに保険診療の自己負担分とは別に上記ご負担をいただく厚生労働省の定めた制度です。ご不明な点につきましては、初診受付または各診療科受付までお問い合わせ願います。

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(= 進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
駐車場について	『駐車場の空き状況がまったく分からないし、かと言って各フロアに案内係りが居るわけでもない。もう少し管理できないものか。』とのご意見をいただきました。当院の駐車場は年々利用者数が増加しており、平日の午前10~11時ぐらいに、多いときは月に2~3回程度満車になることがございます。駐車場にゆとりがある時には、すぐに駐車場所を見つけることができると思われますが、混雑している時はご迷惑をかけていることと思います。また、フロアごとの駐車台数は機械で管理されていますが、その管理が正確に出来ていないことが、調査により分かりました。今後、調査の結果を踏まえ次の対応を進めてまいります。 フロアごとの駐車台数の正確な管理と案内ができる仕組みの確立 満車にならないように駐車場利用状況調査と整備の実施

編集後記

長かった梅雨がやっと終わりました。北部病院のロビーも朝から景色が明るくなったような気がします。やはり病院は明るいほうがいいです。夏といえば、うなぎ、はも、そうめん、カキ氷、すいか、もも、ピアガーデン・・・思いつくものを列挙しようとしたのですが、浮かぶのは食べ物ばかりです。世の中ではシンドラー、パロマと嫌な事件が続きますが、できれば梅雨明けのようにスカッと明るいニュースが続いてほしいと思います。これからさらに暑い夏が確実に来ますが、うっかりしているとあっという間に終わります。どうぞ皆様、夏を食べのこすことのないように、いや夏をやり残さないようにお元気にお過ごしください。

広報委員会 委員 島田 誠

北部病院だより 第41号
平成18年8月7日発行
発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)
発行 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL: http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより 第41号

第41号【2006/8/7 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

『 消化器センター 上部チームの活動のご報告 』
消化器センター 助教授 井上 晴洋
イベント情報
コードブルー実地訓練

医師の配属・異動・退職

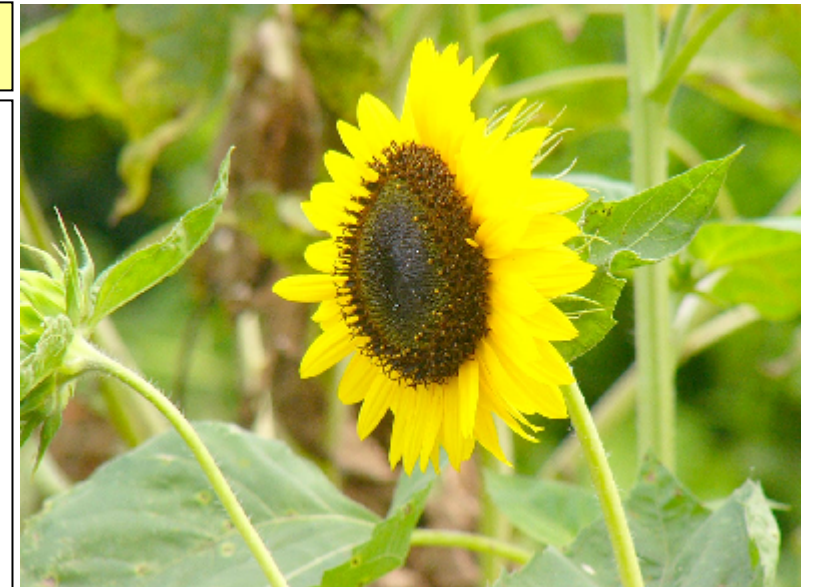
診療統計

外来担当表

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサート日程
特定療養費の変更のお知らせ

患者様からのご意見・ご要望



ヒマワリと背比べしたことってありませんか??

巻頭言

『 消化器センター 上部チームの活動のご報告 』



消化器センター
助教授
井上 晴洋

消化器センターは、工藤進英教授をセンター長として消化器疾患を専門に取り扱っております。工藤進英教授は、陥凹型大腸腫瘍の存在を世に知らしめ、そのビットパターン診断学と治療学を確立されたので、自明のことながら当センターは大腸内視鏡検査と大腸内視鏡治療のメッカであります。さらに、内視鏡治療の適応を外れるリンパ節転移の可能性をとまなう病変には、田中淳一教授を中心に内視鏡外科手術が多数おこなわれています。

そのなかで、わたくしどもは上部疾患(食道癌と胃癌を中心に)を担当しております。消化器癌に対する診断と治療を以下のように考えております。その1つは、「癌の早期発見」であります。すこし単純化して申し上げますと、胃がんであれ、食道がんであれ、粘膜癌でリンパ節転移がない時点で発見されますと、内視鏡による局所治療(癌を含んだ粘膜のみを口から挿入した内視鏡で摘出)で外科の手術を受けることなく治療することができます。こういった早期癌に対する内視鏡治療には、EMR(内視鏡的粘膜切除術)とESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)の2つの方法がありますが、わたくしどもはオリジナルの方法として、透明キャップ法(1993年発表)や三角ナイフ法(2003年発表)などをおこなっております。これまでに600人以上の方に治療をおこなっています。この治療はとくにわが国で開発され発展しているため、海外からの通院患者さんもおられます。実際に、この治療を行うために米国から1人、台湾から2人の患者さんが国際線で3-6ヶ月毎に横浜まで通院されています。

癌検診としての、内視鏡による上部消化管スクリーニングの直接の目的はここにあります。年1回の検診内視鏡を受けていて、「癌が見つかりました。それでは外科の手術をうけてください。」では患者さまはどうも釈然とされないでしょう。やはり「癌が見つかりましたので、今度、内視鏡(EMR、ESD)で採りましょう」でなくてはなりません。検診内視鏡時の癌の拾い上げの精度をあげることがわれわれの使命でもあります。拡大内視鏡による観察は上部消化管でも必須であります。この数年、少しでも早期の癌を見つけないということから検討をすすめた結果、徐々に小さい癌が見つかるようになり、ついに「1mmの食道癌」(2004年1月)も見つかるようになりました。癌も1mmで見つければ、転移の心配などは無用ですし、またその治療もいたって簡単です。微小癌を拾い上げること、これが検診内視鏡の醍醐味かと考えています。逆説的に申しますと、1mmの癌を拾い上げる目を持っていれば、5mmや10mmの癌を見落とすことはありません。

癌の診断においては最近、当院において、さらに画期的な進歩がありました。超・拡大内視鏡を用いますと、生体内で生きた細胞や細胞核の観察をおこなうことができるようになりました(Inoue H et al. Nature Clin Pract Gastroenterol & Hepatol, 2005)。現在は、小病変を見つけた場合に、拡大内視鏡観察で診断をつけ、そしてそのまま細胞観察をおこない癌細胞の有無を確認するようになってきています。

さて、癌の早期発見と並ぶ、もう1つのスローガンは低侵襲治療です。不幸にも癌が進行癌で見つかった場合です。この場合もその臨床病期に応じて、最小の侵襲かつ最大の治療効果になる治療法を展開するようにしております。食道癌では、「鏡視下食道切除・再建術」(1997年本邦第1例)という内視鏡外科手術をおこなっておりますし、昨年は1年間に32例に同手術を施行しています。胃がんに対しても腹腔鏡手術が、全胃がん手術症例の約45%に施行されています(胃がん総手術数102件2005年)。腹腔鏡下手術では従来とほぼ同様のリンパ節隔清をとまなう胃切除術を小さい傷でおこなうことができます。

このように微小癌の拾い上げ診断から、内視鏡外科手術まで、首尾一貫して施行しており、患者さんにとって楽であり、また効果的な治療を心がけています。

さらに、もう1つの話題であるカプセル内視鏡(2006年)の治験も当院と慶応大学の2施設で無事終了しまして、今後、さまざまな領域への応用が期待されています。以上のように、消化器センターのTargetは消化器癌の診断と治療であります。その第1歩は検診内視鏡であります。そのためには内視鏡検査・治療中の恐怖感を排除して、快適な内視鏡検査を受けていただくことが必須です。眠り薬には種々の配慮をおこなっており、内視鏡をつけた患者さんからはおおむね好評をえています。今後は「苦しくない医療」から「快適な医療」へと発展し、最高の技術を最小の侵襲で提供することがわれわれの使命と考えています。

癌治療を中心に述べてまいりましたが、炎症性疾患もわれわれの得意分野の1つであり、食道アカラシア、逆流性食道炎の腹腔鏡手術(内視鏡外科学会技術認定医)やピロリ菌の除菌なども含めて日常診療にあたっております。

北部イベント

コードブルー実地訓練

全教職員の医療安全教育講習の1つとして、5月29日(月)にコードブルー実地訓練を行いました。

コードブルーとは、医療スタッフの緊急招集の合図です。病院には医師、看護師をはじめとし、医療従事者が24時間勤務しておりますが、休日や時間外等スタッフ数が減少する時間帯、廊下や駐車場など人目が少ない場所などでは病院内であっても十分な医療人員や器材が集まりません。当院では、そのような状況下で、お見舞いに来られている方や患者さまが急変された場合でも、冷静かつ迅速に人員召集と器材の準備を行い、全教職員が救急初期対応を行えるようにと毎年訓練を実施しております。

今年は、時間外に総合案内付近で患者さんが呼吸停止の状態であっているのを帰宅途中の看護師が発見するというシナリオで実施しました。また、例年発見から救急外来搬送までの一連の流れを一気に実施していましたが、今回は1場面1場面に区切り、「この場面は、こういう状態で、誰が何をしようとしています。」と解説を加えながら、新任スタッフや途中参加者にも分かるよう工夫を加え実施しました。

お気付きの方も多いかと思いますが、中央棟1・2階の外来部門を中心に3月下旬にAED(自動体外式除細動機)を5箇所に設置しました。この機器は医療従事者でなくとも使用可能であるため、昨今病院のみならず、駅やデパートなど様々な公共の場所に設置され始めており、皆さまも目にする機会が増えてきているかと思えます。

今回のコードブルー実地訓練ではこのAEDを使用した訓練でありましたが、訓練時には一部参加者しか触れることが出来なかったため、AED操作訓練講習会を5月30日(火)～6月2日(金)の4日間に渡り開催しました。10名程度の小グループに分かれ、操作訓練を行いました。562名の参加者があり、基本的な操作については参加者の90%以上から理解できたとの結果が得られました。

今後は市民向けにAED操作方法の公開講座や職員向けにより高度なAEDを使用した心肺蘇生法の講習会等を企画していく予定です。

中央棟1階 総合案内



コードブルー実地訓練風景



AED操作訓練風景

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。
平成18年8月1日改訂

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	鹿間裕介(初診) 北見明彦(再)	医局員(初診) 笠原慶太(再)	中島宏昭(紹介初診) 笠原慶太(初)	中島宏昭(再診) 医局員(初)	医局員(初診) 中神和清(再)	鹿間裕介(初診) 笠原慶太(再)	鹿間裕介(再診) 笠原慶太(再)	笠原慶太(再診) 笠原慶太(再)	北見明彦(再診) 中島宏昭(再)	医局員(初診) 中島宏昭(再)	医局員(初診)
消化器センター	医局員(初) 小林泰俊	工藤恵子 出口義雄	田中淳一 櫻田博史	辰川貴志子 藤原貴太郎	請川淳一 松下達彦	請川淳一 遠藤俊吾	井上晴洋 長山裕之	井上晴洋 笠島圭太	大塚和朗 為我井芳郎(1)	大塚和朗 池原伸直	土曜初診1 里館均
循環器センター	磯村直栄	丸田一人	落合正彦	御子柴幸 上村茂 (先天性心疾患)	小原千明	岡田良晴	荒木浩	藤倉寿則	上村茂 (先天性心疾患)	西巻博(第3)	医局員
メンタルケア(初)	工藤行夫 (精神全般・統合失調症)	吉益晴夫 (精神全般・記憶障害・PTSD・PT)			堀宏治 (精神全般・認知症)		秋元洋一 (精神全般・統合失調症)		西岡玄太郎 (精神全般・うつ病)		伊川(奇) 青山(偶) (精神全般・うつ病)
メンタルケア(再)	坂垣太郎	秋元洋一			西岡玄太郎		吉益晴夫		工藤行夫		堀宏治 小城幸乃
メンタルケア(再)	谷将之	太田晴久			山本英樹		黒澤謙三		青山洋		医局員
内科(緩和ケア)						新井一成				中村明央	
内科(23-2)	宮下耕一郎 (一般内科)	山本真寛 (一般内科)	中澤あい (一般内科)	宮下耕一郎 (一般内科)	菊嶋修示 (循環器不整脈)	菊嶋修示 (循環器不整脈)	中澤あい (一般内科)	熊田千晶 (一般内科)	菊嶋修示 (循環器不整脈)	菊嶋修示 (循環器不整脈)	菊嶋修示 (循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子 (内科腎臓)	高橋健 (内科腎臓)			衣笠えり子 (内科腎臓)	衣笠えり子 (内科腎臓)	坂下暁子 (内科血液)	坂下暁子 (内科血液)	山本真寛 (一般内科)	川崎仁志 (内科神経)	医局員
内科(23-5)	坂下暁子 (内科血液)	坂下暁子 (内科血液)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	三代川章雄 (内科消化器)	熊田千晶 (一般内科)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	三代川章雄 (内科消化器)
内科(25-1)	裨田宗太郎 (内科神経)	土屋静馬 (一般内科)	中山文義(腎) (第1火休診)		裨田宗太郎 (内科神経)		滝西安隆 (一般内科)		土屋静馬 (一般内科)		滝西安隆 (内科一般)
内科(25-2)		井上 穂 (内分泌・代謝)			木村 聡 (内科・感染症)					医局員	医局員
内科(25-3)	田口 進 (内科消化器)		田口 進 (内科消化器)	田口 進 (内科消化器)		小林功治 (一般内科)	田口 進 (内科消化器)				渡邊浩之(1,3) (一般内科)
内科(25-5)	荻原 徹 (糖尿病・内分泌)		嶋田 顕 (内科腫瘍)		荻原 徹 (糖尿病・内分泌)		嶋田 顕 (内科腫瘍)	嶋田 顕 (内科腫瘍)	荻原 徹 (糖尿病・内分泌)	富田高重(第1) (内科消化器)	荻原 徹 (糖尿病・内分泌)
内科(25-6)	吉田典世 (一般内科)	伊東友弘 (内科腫瘍)		吉田典世 (一般内科)	女性専門外来 (予約のみ)	伊東友弘 (内科腫瘍)	緒方浩頭 (内科腫瘍)	内田奈名子 (一般内科)	伊東友弘 (第4休診) (内科腫瘍)		緒方浩頭 (内科腫瘍)
内科(25-7)		内田奈名子 (一般内科)	辻 正富 (糖尿病・内分泌)	辻 正富 (糖尿病・内分泌)	伊藤英利 (内科腎臓)		辻 正富 (糖尿病・内分泌)	辻 正富 (糖尿病・内分泌)	伊藤英利 (内科腎臓)		辻 正富 (糖尿病・内分泌)
小児科	野中善治	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤重孝	心臓外来	野中善治	成育外来	梅田 陽	乳児検診	医局員
小児科	曾我恭司	予防接種	曾我恭司	フォローアップ外来	梅田 陽	腎臓外来(1,3)	曾我恭司	アレルギー外来	京田学是	フォローアップ外来	医局員
小児科	北澤重孝		野中善治	血液内科(4) 心理相談	京田学是		松岡 孝	口腔発達(2,3) 心理相談	井上真理	上村茂(心臓)	医局員
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇) 医局員(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		濱口太造				濱口太造		宋 寅傑		光線療法外来
皮膚科(再16-1)	濱口太造		宋 寅傑				濱口太造				
皮膚科(再16-2)	佐々木雅美	外科手術	佐々木雅美	外来手術	佐々木雅美	外科手術		外来手術	佐々木雅美	外来手術	医局員
皮膚科(再16-2)	松村卓美		松村卓美						松村卓美		
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成	井関雅一(偶) 岩波正英(3)	中村明央		中村(奇) 新井・山崎(偶)
外科			福成信博		山崎智巳		木庭雄至 (予約のみ)	兼坂 茂 (予約のみ)	福成信博		
形成外科	大塚尚治	美容外科 ヒ・リング		【手術日】				【手術日】	大塚尚治		大塚尚治(奇) 国井健太(偶)
脳神経外科(初再診)	池田尚人	(診断書外来)	医局員		池田尚人	退院後外来	飯田昌孝		池田尚人		飯田昌孝 池田尚人(偶)
脳神経外科(再診)			池田尚人 飯田昌孝								池田尚人(奇)
整形外科	医局員 (初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギプス診 予約のみ	古梶正洋		松久孝行	ギプス診 予約のみ	古梶正洋		定方博史		医局員
整形外科	川崎恵吉		石田将也		定方博史		川崎恵吉		石田将也		
産婦人科初診(12-7)	鈴木紀雄(奇) 安藤直子(偶)		高橋 諄 (近藤瑞穂)		高橋 諄 (近藤瑞穂)		小塚和人 (近藤哲郎)		小川公一		医局員
産婦人科産科(12-1)	近藤哲郎		小川公一		栗城亜具里		安藤直子		鈴木紀雄		
産婦人科産科(12-6)	菊部瑞穂		隅 靖浩	特殊診 予約のみ			御子柴尚郎			特殊診 予約のみ	
産婦人科産科(12-8)	小川公一		鈴木紀雄	特殊診 予約のみ	近藤哲郎		高橋 諄		安藤直子	特殊診 予約のみ	医局員
産婦人科産科(12-6)			菊部瑞穂		御子柴尚郎				栗城亜具里		
産婦人科産科(12-6)					隅 靖浩						
泌尿器科(初診11-1)	佐々木春明	椎木(検査) 予約のみ	椎木一彦		菅原 草	深澤(再診) 予約のみ	青木慶一郎	鈴木俊一 (再診)	島田 誠	佐々木春明 (男性外来予約)	医局員 (初再診)
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来) 予約のみ	菅原 草		青木慶一郎	青木(検査) 予約のみ	椎木一彦	菅原(検査) 予約のみ	佐々木春明	黒澤(検査) 予約のみ	
泌尿器科(検査11-5)		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ	
眼科	井上吐州	特殊診(井上)	小池正直	特殊診(中村)	井上吐州		小池正直	特殊診(小池)	井上吐州		小池正直(奇) 中村 徹(偶)
眼科	中村 徹		中村 徹	特殊診(小倉)	小倉寛嗣		小倉寛嗣	特殊診(小倉)	中村 徹	特殊診(中村)	中村(奇) 岡田法子(奇)
眼科	岡田法子	特殊診(岡田)	岡田法子				岡田法子	特殊診(岡田)	小倉寛嗣		小倉寛嗣(偶)
耳鼻咽喉科13-2	門倉義幸 (初診)	腫瘍科外来 予約のみ	石田 良 (初診)		医局員 (初診)	東洋医学外来 歯学部予約のみ	油井健史 (初診)	いびき外来 予約のみ	医局員 (初診)		医局員 (初診)
耳鼻咽喉科13-2	大嶋健三郎 (再診)			レーザー外来 予約のみ			門倉義幸 (再診)				
耳鼻咽喉科13-3	柳裕一郎(再)		柳裕一郎(再)				石田 良(再)				
耳鼻咽喉科13-5	油井健史 (再診)		島本久美子 (再診)			補聴器外来K 予約のみ		補聴器外来 予約のみ	歯科器具 予約のみ		

放射線治療の外来日は、月火木金・輪瀧憲二医師です。 リハビリ科外来日は、火曜日午後：真野英寿医師です。 皮膚科 水曜日 初診外来をしばらくの間休診とさせていただきます。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

8/1 付【6/2~8/1】

【附属病院より】

井上 克己 (泌尿器科)
昭和大学藤が丘病院
泌尿器科より

井上 真理 (こどもC)
昭和大学
小児科学教室より

隅 靖浩 (産婦人科)
昭和大学
産婦人科学教室より

【他病院より】

垣迫 健二 (消化器C)
大分医科大学
昭和61年卒

鈴木 佳宣 (皮膚科)
昭和大学
昭和62年卒

【訂正のお知らせ】
病院たより第39号の退職医師の所属に誤りがありました。大変失礼致しました。
斎藤 元(誤・清家外科
正・整形外科

異動・退職医師

7/31 付【6/1~7/31】

【附属病院へ】

佐々木 春明(泌尿器科) 昭和大学藤が丘病院泌尿器科へ

【長期出張】

和田 祥城(消化器C)
林 武雅(消化器C)

【退職】

高野 忠将(こどもC)
黒澤 和宏(泌尿器科)

診療統計

2005年6月統計データ()内は1日平均

診療実日数 入院・・・30日 外来・・・26日

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
6月	32,346人(1,244.1人)	18,769人(625.6人)	396人(13.2人)	472件(21.5件)